



レファ通

～レファレンス通信～

No. 1
2009. 6. 1
石川県立図書館
利用サービスグループ

「レファレンス通信」を発行します。
図書館を便利に利用していただくためのお手伝いが
できたらと考えています。

レファレンスってなに？

レファレンスとは何かを知っていますか。

図書館では、本や雑誌を集めたり、整理したり、
保存したり、貸し出したりする他に
レファレンス(Reference)という仕事があります。

レファレンスとは、「参考調査」「調査相談」と訳されますが、



図書館職員が

みなさんの調べもののお手伝いをするサービスです。

レファレンスには「所蔵調査」「事実調査」の2種類があります。

「所蔵調査」

探している資料が
この図書館にあるかどうか、
なければ他のどこの図書館にあるか、
を調べます。



ここにはない本は
取り寄せもできま
す。

「事実調査」

さまざまな事柄に関して調べます。

クイズの解答、法律相談、
医療相談、古文書の解
読、美術品の鑑定、宿題
の回答などはしません。



お気軽に調査相談カウンター職員にご相談ください。

電話:076-223-9575 FAX:076-222-2531

メール: chosa@pref.ishikawa.lg.jp

快刀乱麻、回答乱麻！ 1

実際に受けた
レファレンスの事例を紹介します。



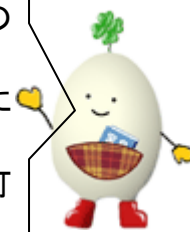
Q 兼六園ことじ灯籠の脚の長さが今のように片脚が短くなったのはいつからですか？

A ことじ灯籠の脚の左右の長さは現在違っていますが、元は同じ長さでした。それではいつから短くなったのでしょうか。

『兼六園全史』(K292.2/44)収録の江戸晩期に描かれたと言われる「兼六園絵巻」では、ことじ灯籠の両脚は同じ長さに描かれています。

『金沢展览会品目 人』(明治5年)(K706.9-14-3)、『兼六公園誌 乾』(明治27年)(K292.2-2-1)にも、ことじ灯籠が描かれていますが、脚の長さははっきりしません。明治27年刊の『金城勝覧図誌』(K292.2/117/1)では片方の脚が短くなっています。

『兼六園の今昔』K292.2-1013 には、「江戸末期か明治初期、1860年代に折れたのではないか」と記載があります。いつ短くなったのかははっきりしませんが、金沢のシンボルとして有名なことじ灯籠の脚は初めから片方が短かったわけではないというのは意外な事実でした。



【全国の公共図書館のレファレンス質問と回答を、国立国会図書館の「レファレンス協同データベース」で見ることができます。urlは <http://crd.ndl.go.jp/jp/public/> です。】

まず百科事典

こうしてしらべよう 1



専門的な事でも、けっこうわしく載っていることがあります。
また、まったくわからない事を調べるための糸口が見つかる場合があります。

『日本大百科全書』(全 26 巻別巻 1)小学館 (O31/72/1-26)

約 13 万項目をアイウエオ順に並べた小項目主義の百科事典。解説の後ろに参考文献が載っているの、よりくわしく調べるための手がかりをここから得られます。

『世界大百科事典』(全 31 巻別巻 5)平凡社 (R031/10011/1-31、B1-5)

大・中・小の約 7 万の項目がアイウエオ順に並び、その道の第一人者が署名入りで専門的な解説を書いています。



ワンポイントアドバイス…索引を使いましょう！

百科事典などを使う時は、**まず索引を見ましょう。**

見出し語のアイウエオ順で並んでいることが多いのですが、「→を見よ。」と参照があって、アイウエオ順では出てこない関連事項や正式名称など知ることが出来ます。